

ハンドメイド作家
レジンや紙粘土で丁寧に作品を作り、みんなに喜んでもらいたい。
磯野 佑香

バレーボール選手
キャプテンになり、チームを引っ張っていきたい。
大出水 陽汰

美容師
お客様の理想の髪型にして喜ばせたい。
大平 明佳

スクールカウンセラー
誰かの心の支えになれるスクールカウンセラーになりたい。
業天 ひなた

ゲームを作る人
子供にゲームは楽しい物と思ってもらいたい。
小西 翔太

パティシエ
お菓子をつくって家族に食べてもらって美味しいと言われて、嬉しかった。
佐寄 旭

小学校の教師
生徒に慕われる教師になりたい！
鈴木 瑞歌

プロ野球選手
たくさん活躍してみんなに笑顔を与えられるような選手になりたい。
砂上 敬仁

教師・小説家
みんなを笑顔にできるような教師、小説家になりたい。
田尾 すみれ

卒業生 将来の



2026年

林業技術者
森を大切に環境を守りたい。
田尾 奏太

イラストレーター
いろいろな絵を描いて多くの人に私の描いた絵を届けて、笑顔にしたい。
田尾 乃々花

デザイナー
服や雑貨などのデザインを試してみたい。
田尾 玲衣華

サッカー選手
サッカー選手になるために毎日練習を頑張る。
田中 友士

考古学者
新しい世界を発見したい。
中田 暖乃

イラストレーター
たくさんのイラストを描いて楽しんでもらいたい。
中村 優花

プロ野球選手
みんなに夢を与えられる選手になりたい。
西山 魁

美容師・音楽アーティスト
みんなから喜びあふれる美容師になりたい。聴いた人が感動する曲を作れるアーティストになりたい。
別所 琴音

公務員
人の事をまとめられる人になりたい。
三宅 健喜

先生
生徒と笑い合える先生になりたい。
矢野 善三

飲食店(とんかつ屋)
お客様の笑顔でいっぱいになるようなお店にしたい。
山岡 凌花

看護師
人の心の支えになれるような人になりたい。
山地 和奏

イラストレーター
絵でたくさんの人を喜ばせたい。
若松 祐花

入学しきのとき、ドキドキしてこわかったけれど、やさしくこえをかけてくれてありがとうございました。わたしも6年生になったらやさしく1年生にこえをかけたいです。 1年 ふじ田 かほ

入学しきのとき、わたしはきんちょうしてたけれど6年生がやさしく手をひいてくれてうれしかったです。わたしも6年生みたいになりたいとおもいました。 1年 田お ゆい

卒業によせて

登下校では、安全に連れて行ってくださりありがとうございました。おかげで安心して学校に行くことができました。やさしく声をかけてくれた時はうれしかったです。中学校に行ってもがんばってください。 3年 山地 星那

登校班の時は安全に学校に連れて来てくれてありがとうございました。なかよし集会ではみんなが楽しく遊べるものを考えてくださりありがとうございました。中学校に行ってもがんばってください。 3年 西山 希

一番の思い出は、サッカークラブです。シュートを上手く決められるか、不安でした。「ガンバレ！」というみなさんからの声で、得点できました。ありがとうございました。 4年 高橋 優仁



「さくらが丘フェスティバル」では、個性を発していましたね。とっても、おもしろかったです。集団登校のときには、安全に連れて来てくれました。いつも、安心でした。 4年 福田 凌央

まい朝とう校はんで、あんぜんにつれて行って来てくれてありがとうございました。ぼくも6年生みたいにかんばりたいです。中学生になってもがんばってください。ありがとうございました。 2年 別所 徹次

休み時間にサッカーをいっしょにしてくれてうれしかったです。6年生は、サッカーがうまくてかっこよかったです。ぼくも6年生のようにやさしい人になりたいです。ありがとうございました。 2年 大出水 統里

6年生は、プロジェクト活動などで学校をよりよくするために活動していてすごいなと思いました。特に、なかよしプロジェクトでは全校生が仲良くできるように遊びを考えてくださりありがとうございました。 5年 尾崎 心暖

ご卒業おめでとございます。6年生は、こてき練習やクラブ活動でいつもやさしく教えてくださいました。私も、みなさんのように学校を引っ張っていったのしい6年生になりたいです。 5年 近森 柚紀



さくらが丘

154号
令和8年3月24日
松崎小学校 PTA 広報部



卒業にあたって

校長 平田 郁子

6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。みなさんが、学校のために何ができると考え1年間取り組んだプロジェクト活動は、創意工夫に満ちた大変すばらしい活動でした。学校や下級生のために頑張ってくれてありがとうございました。

先日行われた冬季オリンピックでメダルを獲った選手のインタビューでは、周りの人への感謝の言葉を多く耳にしました。みなさんも、様々な人に助けられ、支えられていることを忘れず、充実した中学校生活を送ってください。

「決断と行動が未来を創る」

6年担任 岡野 昇真

現首相の高市早苗さんは、「覚悟を持って決断することが大切だ」と語っています。これからの人生では、自分で選び、自分で決める場面が増えていきます。迷うこともあるでしょう。でも、自分で考え、覚悟を持って一步を踏み出す経験が、皆さんを強くします。小学校で培った力を信じてください。挑戦する勇氣と、やり抜く覚悟を胸に、それぞれの未来へ力強く歩いてほしいと願っています。

1年間を振り返って ～専門部会より～

今年度、厚生部の活動として奉仕作業やふれあい活動に携わりました。奉仕作業では多くの方にご参加いただき、学校環境を整えることができました。ふれあい活動では地域の方と交流し、楽しそうに取り組む子どもたちの姿が印象に残っています。先生方や保護者の皆様、役員の皆様のご協力により無事終えることができました。ありがとうございました。

【厚生部長 鈴木 香里】

PTA 会長として、一年間活動させていただきました。緊張の PTA 総会の挨拶から始まり、三豊市の会に参加させていただいたり、運動会、奉仕作業、さくらが丘フェスティバルなど様々な行事で、子ども達の成長を感じる事もでき、とてもいい経験となりました。先生方や保護者の皆様、役員の皆様の多くのご協力により、無事に終えることができました。本当にありがとうございました。

【PTA会長 田尾 香織】

広報部では主に、運動会やさくらが丘フェスティバルの写真撮影を行いました。カメラ越しに子どもたちの一生懸命な姿を間近で見ることができ、多くの感動をいただきました。また、その全力で取り組む姿に、私たちが元気をもらう場面も多かったです。先生方や保護者の皆様、役員の皆様のご協力のおかげで、無事に一年間の活動を終えることができました。本当にありがとうございました。

【広報部長 磯野 陽子】

三大プロジェクト

6年生が「Good」「あいさつ」「なかよし」の3つのプロジェクトに分かれ、全校生が今以上にすてきな松崎っ子になるために活動してきました。

Good プロジェクト

私たちは、このプロジェクトで学校を Good でいっぱいにするために活動してきました。

どうしたら全校生が Good プロジェクトの活動に楽しく参加できるか、どうしたらその活動をみんなが習慣づけてくれるかをよく考えて計画しました。例えば、上靴揃え週間や、スリッパ揃え週間などの活動を始めると、前よりも上靴やスリッパがそろそろようになって、活動をして良かったなと思いました。これらの活動ではポスターや、原稿を作って放送で呼びかけたり、グランプリを開催したりして出来るだけはやく実行してきました。これからも Good プロジェクトでしたことを意識していきたいです。



あいさつプロジェクト

私たちあいさつプロジェクトは、『この学校に元気な朝を』をかがげこの一年間頑張ってきました。計画が遅く企画が出来ない時期もありました。しかし、みんなで話し合いをして計画を立てる事が出来ました。みんながあいさつをできるようにするために旗も作りしました。私たちは、1年間、毎日、玄関前に立ちました。初めの頃はあいさつができていなかったけれど、2学期の後半くらいから、みんながあいさつできるようになりました。その時に、今まで頑張ってきて良かったと思えました。来年も受け継いでもらえたらうれしいです。



なかよしプロジェクト

6年間の集大成の三大プロジェクト。みんなの絆を強くし、楽しい時間を過ごしてもらえよう活動してきました。1番最初の仲良し遊びで行った「紙飛行機大会」では、みんなの動きを想定することが難しく本番ではどうすればよいか戸惑ってしまいました。そこで企画することの難しさや大変さを知ることが出来ました。夏に開催したO×クイズは、体育館が暑いことを想定して、図書室で行うことにしました。他のプロジェクトの友だちにも力を借り、無事みんなが笑顔になるような企画をすることが出来ました。この1年間を通して、私たちに足りない事、仲間と協力して進める事を学ぶ事ができました。これからの生活にもこの経験を活かしていきたいです。



母親委員として、一年間活動させていただきました。三豊市交通安全母の会に子供と一緒に参加し、交通安全の研修を受けました。クイズをしたり子供とマスコット作りをしたり普段なかなか時間をつくってできない事を、活動に参加することで貴重な体験を子供と一緒に味わうことができました。一年間、ありがとうございました。

【母親委員 別所 さゆり】

今年度、健全育成委員として活動させていただきました。二カ月に一度の巡回では、詫間・松崎地区を車で回り、帰宅中の児童へ声掛けを行いました。子供達の安全がいかにも多くの地域の皆様に見守られているかを実感し、改めて感謝の気持ちを抱きました。一年間の貴重な経験を通じ、地域の温かさを知る良い機会となりました。本当にありがとうございました。

【健全育成委員 矢野 純子】